

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説  
(平成 26 年 6 月 20 日)

【六】南宮适 孔子に問いて曰く、羿は射を善くし、羿は舟を盪かすも、俱に其の死然るを得ず。禹 稷は躬ら稼して天下を有つと。夫子答えず。南宮适出づ。子曰く、君子なるかな 若き人。徳を尚ぶかな 若き人と。

夏王朝時代の話です。南宮适が孔子に尋ねました。

羿（げい）は弓の名手で夏王朝を倒した人物です。その後、家臣の寒浞（かんそく）に殺されました。寒浞が羿の奥さんに生ませた子供を羿（ごう）といいます。羿という人物は、船をも動かすぐらいの大力だったけれども、少康という家老に殺されました。羿も羿も武力に秀でていましたが、非業の死を遂げています。その道を極めるような者であっても非業の死を遂げる。しかし禹・稷は、禹は夏王朝の始祖です。稷は周王朝を創業した人物です。どちらも素晴らしい人物で、禹は治水で水を制し、稷は色々な穀物の種を作りました。自ら農耕に従事して天下を長い間保ったといいます。それは何故でしょうかと発言をしました。孔子は何も答えないで、南宮适が退出した後に、「あの人は人物であり、人徳がある。素晴らしい人物は、そう出るものではない」と褒め称えました。

南宮适は、羿・羿・禹・稷と対比しながら発言をしたけれども、孔子はそれに対して答えないで、後に褒め称えるという形をとったのですから、孔子自身も奥ゆかしいぞと感させますね。

羿・羿は世の中に時々出てくるけれども、禹・稷のような人物は、なかなか出てこないと感じました。